

2012年5月9日
Sony Music Foundation
(公益財団法人ソニー音楽財団)

Concert for KIDS～0才からのクラシック～ 実施報告

宮城県多賀城市にて、下記の通り公演を実施いたしましたので報告いたします。

記



- 1.公演名 Concert for KIDS ～0才からのモーツァルト～
- 2.日時 2012年 4月 21日(土)：前日仕込み、リハーサル
4月 22日(日)：11時開演（12時終演）
- 3.会場 多賀城市民会館 大ホール（〒985-0873 宮城県多賀城市中央 2-27-1）
- 4.演奏者 鷺尾 麻衣（ソプラノ）、吉川 健一（バリトン）、石野 真穂（ピアノ）
クアルテット・エクセルシオ（弦楽四重奏）
- 5.料金 【全席指定、税込】
こども（0才～小学生） 500円
おとな（中学生以上） 2,000円
- 6.主催 多賀城市文化センター指定管理者／仙台放送
- 7.協賛 ソニー株式会社／ソニー生命保険株式会社
- 8.企画制作 Sony Music Foundation（公益財団法人ソニー音楽財団）
- 9.同行者 Sony Music Foundation 企画事業部 高堀明日香、酒井絵梨
- 10.対象 チケットをご購入いただいた、0才以上のお子様と、そのご家族
- 11.内容 未就学の小さなお子様と一緒に、ご家族皆様でご入場頂ける1時間のクラシック・コンサート。お子様が大好きなリズム遊びも織り交ぜながら、わかりやすいお芝居仕立てで、全編モーツァルトの曲をお届けした。
- 12.プログラム W.A.モーツァルト作曲
オペラ「魔笛」K.620より『序曲』『おいらはパパゲーノ』（鳥刺しの歌）
クラヴィエアのためのアンダンテ ハ長調 K.1a
ピアノ・ソナタ ハ長調 K.545より 第1楽章
「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」より 第1楽章

ディヴェルティメント 第17番ニ長調 K.334 より 第3楽章「メヌエット」
オペラ「フィガロの結婚」 K.492 より

『恋(こい)とはどんなものかしら』 / 『もう飛ぶまいぞ、この蝶々』
おもちゃの交響曲ハ長調 (レオポルト・モーツァルト)

ピアノ・ソナタ 第11番イ長調 K.331 より 第3楽章「トルコ行進曲」
交響曲第25番ト短調 K.183 より 第1楽章

オペラ「魔笛」 K.620 より『恋人か女房があれば』『パ・パ・パの二重唱』
アンコール：きらきら星変奏曲 (アダン)

実施に至る経緯

Sony Music Foundation (公益財団法人ソニー音楽財団) では、1999年より、未就学児も入場できるコンサート・シリーズ『Concert for KIDS』を制作しております。
多賀城市においては、2009年より多賀城市教育委員会の主催で1日2公演開催、毎回完売する人気公演でした。

2011年度も8月に開催が決定していましたが、会場の多賀城市文化センターも大きなダメージを受け、また避難所となり、震災直後に公演中止となりました。そこで、毎年多賀城公演のための宿泊場所として利用していたホテルの宴会場を借り、当財団主催で「Concert for KIDS～0才からのクラシック®～」を開催しました。

上記のような相互協力の経緯があり、2012年4月に会館が再開できるめどがたち、その会館再開記念事業として「Concert for KIDS」が採択され、今回の開催が実現しました。

経費報告

●東京⇄仙台 往復交通費 (出演者7名・スタッフ1名分) ¥166,120

①回数券 (6枚つづり×3セット=¥177,300-2枚) = ¥157,600

(※当日の他スタッフ同行=1往復分も同時に購入したためマイナス2枚)

②仙台⇄多賀城 (JR) 【スタッフ1名】 ¥230×2 (往復) = ¥460

③仙台⇄多賀城 (ジャンボタクシー1台) 【出演者7名】

¥4,030×2 (往復) = ¥8,060

●出演者宿泊費 (7名) ¥60,380

●スタッフ宿泊費 (1名) ¥6,600

合計経費	¥233,100
------	-----------------

※申請から、ホテル宿泊費、および交通費の料金に変更が生じました。

当日の様子

4月22日、少し肌寒くも、天候に恵まれ、2年ぶりに多賀城市民センターで Concert for KIDS を開催いたしました。震災前は完売になっていた当コンサート・シリーズですが、今回は338名のお客様にご来場いただきました。



<多賀城市文化センターの入り口>



<リハーサル中の様子>



<開場中の様子>



<開場前のロビーの様子>



<公演中の様子>



<カーテンコール>

震災後、昨年8月の公演で訪れてから早半年、津波や地震の爪痕がまだまだ残る多賀城市で、再び子どもたちに、そして親御さんたちにクラシック音楽をお届けすることができました。

公演は、パパゲーノ役の吉川健一さん（バリトン）と、モーツァルト役【コンサート後半ではパパゲーノ役】の鷺尾麻衣さん（ソプラノ）のお芝居仕立て。途中には、子どもたちと一緒にきらきら星を歌ったり、トルコ行進曲に合わせて手遊びをしたり、パパゲーノが客席から登場するシーンなどを織り交ぜながら、約1時間のモーツァルト三昧のコンサートとなりました。

特に、目を輝かせながら、乗り出して演奏を聴いていた子どもたちが非常に印象的でした。アンケートでは、地震後ゆっくり音楽を楽しむ余裕もなく一年が経ち、今回の機会に来てみて本当に良かった、とのお言葉も頂きました。

音楽のもつ力を信じ、来年以降も継続して開催したいと思います。有難うございました。